

イベント開催のお知らせ

11/1
13:30
-15:00

NPOのはじめかた

NPOの基礎知識やNPOの設立手順、必要な書類などについて一つ一つご説明します。

場 所 コムズ3階会議室1-2
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 NPOに興味のある方
NPOを設立したい方
10名

準備物 筆記用具等

◆申込フォーム◆



11/28
14:00
-16:00

NPOの助成金 チャレンジ講座 ～松山市市民活動 推進補助金編～

松山市NPO登録団体になって、補助金に申請しませんか？
活動を広げたいなど目的が
定まった団体にお勧めです。

場 所 コムズ3階会議室3
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 松山市内で活動する
NPO団体の方 20名

準備物 筆記用具等

◆申込フォーム◆



その他申込受付中のイベント・講座

○よろず相談会・勉強会

NPOを設立したい方などを対象に毎月第4日曜日
(3月除く)に当センター事務所で開催中。事前申し
込みが必要です。

○まちづくり出前講座

市民グループ、企業、学校など5名以上のグルー
プを対象にNPOに関する出前講座を実施中。開催
希望日1か月以上前に事前申し込みが必要です。

各イベントや講座の詳細は、まつやまNPOサ
ポートセンターホームページに掲載しています。

参加希望の方は、メール、FAX、申込フォー
ムにてお申込みください。参加費は無料です。

12/14
14:00
-15:30

NPO法人 基礎講座

環境保護、人権擁護、国際協
力、福祉、教育など、様々な
分野で活動するNPO法人の基
礎知識をわかりやすく学ぶこ
とができる講座です。

場 所 コムズ3階会議室1-2
(松山市三番町六丁目4-20)

対 象 NPOに興味ある方
NPOを設立したい方
8名

準備物 筆記用具等

◆申込フォーム◆



サポセンだよりに関するお問い合わせは、 まつやまNPOサポートセンターまで。

まつやまNPOサポートセンター

〒790-0003 松山市三番町6丁目4-20 コムズ内

Tel 089-943-5790

Fax 089-943-5796

Email pico@npo.coms.or.jp

HP <http://www.npo.coms.or.jp/>

Blog <http://blog.canpan.info/saposen/>

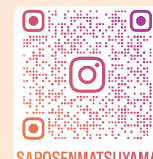
受付時間 平日 9:00～18:00 日祝 9:00～17:30

休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)

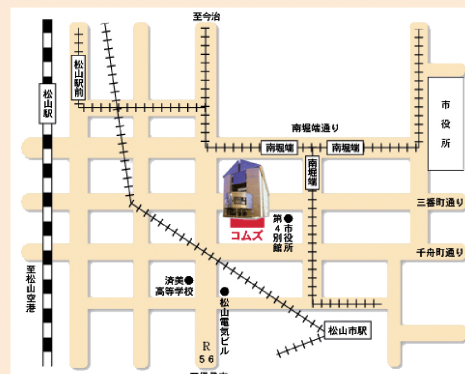
Facebook



Instagram



まつやまNPO 検索



まつやまNPOサポートセンター 情報誌
matsuyama npo magazine

サポセンだより

2025

秋号

2P 特集

報酬で広がる支え合いの仕組み！
有償ボランティアの
メリットと注意点とは？

4P

まつやまNPOサポートセンター主催大学生インターンシッププログラムの報告

5P

松山市大学生インターンシップ受入
松山市職員 市民活動体験研修 事前研修

6P

令和7年度市市民活動推進補助金次世代育成支援
事業審査会&交流会&大洲青少年交流の家との協働

7P

令和7年度松山市市民活動推進補助金採択団体活動報告

8P

イベント開催のお知らせ

表紙写真 ベジタブルキッチンでの活動の様子



特集

報酬で広がる支え合いの仕組み！

有償ボランティアの メリットと注意点とは？

近年、地域活動や福祉の現場、大規模イベントなどで「有償ボランティア」の募集が増えています。従来の「無償」というボランティアのイメージとは異なり、この形態では活動に対して一定の報酬が支払われるのが特徴です。報酬があることで、参加者のモチベーション向上や活動の継続性を支える仕組みとして注目されています。一方で、報酬が発生することで、労働者と同様の責任や義務が求められることもあり、慎重な理解が必要です。今回は、少しずつ認知が広がっている「有償ボランティア」について、NPO団体などが始める場合のメリットや注意点を紹介します。

01 有償ボランティアとは

「有償ボランティア」は、法的に明確な定義がある言葉ではありません。1980年代から使われ始め、厚生労働省では「ボランティア活動を行い、実費や交通費、さらにはそれ以上の金銭を得る活動」とされています(厚生労働省「ボランティアについて」より)。



02 有償ボランティアの主な種類

有償ボランティアには、主に以下のような種類があります。

1 実費支給型

- 活動に伴う交通費や食事代などの実費の一部が支給される形態。活動にかかる費用の補填が目的。
- 一般的には無償ボランティアの範囲内とみなされることが多い。
例：小規模イベントのスタッフが昼食代を支給されるケース。



2 謝礼型

- 実際の活動に対して一定の謝礼が支払われる形態。
- 金額は団体や活動内容によって異なり、数百円～数万円と幅広い。交通費や食事代などの実費分が含まれることもある。
例：講演会での登壇謝礼、イベント運営のサポート報酬など。



3 専門スキル提供型(専門知識・技術の活用)

- 医療・教育・法律など、専門的なスキルや知識を活かして活動する形態。プロボノ(専門職による社会貢献活動)と呼ばれることもある。
- 活動に必要な専門的技術に応じた実費や報酬が支払われることがある。
例：弁護士による無料法律相談、医師による災害支援活動など。



03 有償ボランティアの主なメリット

1 ボランティア参加者が増える可能性

報酬があることで、これまで経済的な理由から参加をためらっていた人も、ボランティア活動をしやすくなり、参加者が増える可能性があります。特に学生や子育て世代、高齢者にとっては、活動への参加を後押しする大きな要因となります。



2 責任感と継続性の向上

報酬が発生することで、活動に対する責任感が高まり、長期的・継続的な参加につながる可能性があります。



3 専門性の確保

専門的な知識や技術が求められる分野では、有償にすることで質の高い人材を集めやすくなります。結果として、活動の質の向上にもつながります。

04 有償ボランティアの主な注意点

1 労働者ではないことを理解する

有償ボランティアはあくまで「ボランティア」であり、労働者ではありません。各種労働に関する保険などは対象外となりますが、報酬の額や業務内容によっては、労働基準法が適用される可能性もあるため、契約及び合意内容の明確化が重要です。



2 事故や損害のリスクに備える

雇用保険の対象外となるため、ボランティア活動中の事故や賠償責任に備えるための保険に加入することがお勧めです。ただし、「有償」であることが保険の適用条件に影響する場合があるため、加入前に補償内容をよく確認することが重要です。



3 ボランティア精神が希薄になる可能性

報酬が主目的になり、純粋な社会貢献の意識が薄れ、報酬の有無によって、活動の人气や意欲に偏りが出る可能性があります。

まとめ

有償ボランティアは、参加者の経済的負担を軽減し、活動の継続性や専門性を高める有効な手段です。一方で、報酬が発生することで、従来の「善意による参加」とは異なる責任やトラブルのリスクも生じます。そのため、有償ボランティアを導入する際には、メリットだけでなく、こうした新たな課題にも目を向け、参加者と団体の双方が納得できる仕組みづくりが大切です。

◎参考サイト

厚生労働省ボランティアについて <https://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/12/dl/s1203-5e.pdf>

01 報告 まつやまNPOサポートセンター主催 大学生インターンシッププログラムの報告

愛媛大学の1名の大学生を8月15日から9月9日の間、インターンシップ研修生として受け入れました。研修生は、14日間の長期プログラム研修で、NPOの知識を学び、松山市のNPOの中間支援体験やNPOの活動体験を通して、自分ができる社会貢献について考え、成果報告発表を行いました。

NPO研修

NPOとは何かという基礎知識やNPOの運営方法、地域にある社会課題の見つけ方などを座学とワークショップで多岐に学びました。

研修生の感想

NPOの網羅的な内容の講義や講座の教材によるワークショップを受講しました。研修を通し、NPOは行政や企業では満たすことが難しいニーズに対応する、地域に欠かせない存在であると実感しています。将来の選択肢の一つにNPO活動を考える私には、NPOや中間支援への理解を大きく深める、非常に貴重な経験となりました。

NPO中間支援体験

相談資料や講座資料の準備、広報企画・啓発資料作成など、松山市のNPO中間支援の役割や支援の体験をしました。

研修生の感想

市民活動配送便、市民活動調査、Facebook活用に関わりました。中間支援の性質上、職員の方が多くの方々とコミュニケーションをとっていたことが印象に残っています。NPO中間支援の内容は多様であり、傾聴力や調整力、柔軟性など多面的なスキルが求められることを学びました。

NPOの活動体験

各団体の方より、活動に対する熱い思いを直接聞いて、実際のNPOの活動を体験しました。

長期受入 特定非営利活動法人 CommunityLife



研修生の感想

「生きづらさ」を抱える方の「今」を支えるという軸のもと、複合的な活動をされていることが印象に残っています。活動の在り方について視野が広がりました。また、放課後デイサービスや、フィリピン支援のチラシ作成など様々な体験をして、それぞれの業務に今まで気が付かなかった留意点があることを学び、貴重な経験になりました。

短期受入 NPO法人えひめ311

研修生の感想

NPO設立経緯、ご自身の被災・救助・避難の体験談などのお話を聞きました。NPOの設立・運営で他のNPO、企業、大学教員、地域のつながりを構築するのが重要だということが印象に残りました。

短期受入 レインボープライド愛媛

研修生の感想

事前課題やNPO研修でLGBTと社会の現状を学んだうえで、お話を聞きました。社会変革を進めるほど、社会の反発も強くなることを感じました。これはどのような話題にも共通することであり、大変考えさせられました。

02 報告 松山市大学生インターンシップ受入 松山市職員 市民活動体験研修 事前研修

7/29 松山市職員市民活動体験研修 事前研修

体験研修を希望する25名の市職員に市役所で事前研修として、NPOの基礎知識や松山市内のNPOの活動、体験受入を行うNPO6団体の説明を行いました。体験研修は、市が職員の市民活動への理解やパートナーシップの構築による協働社会への意識を高めることを目的に毎年実施しています。9月から体験研修本番が始まります。体験を通して、市民活動への理解と更なる進展を期待しています。



8/19 松山市大学生インターン受入

市のインターンシップ事業に協力し、大学生4名を受け入れました。

午前は、NPOの役割や松山市内での市民活動の研修を実施しました。参加学生は研修内容の理解が早く、積極的に質問するなど意欲的でした。

午後は、NPO法人えひめ311を訪問し、団体の成り立ちや活動の変遷、東日本大震災時の体験を伺いました。参加学生は、その話を自分自身に置き換えて、災害対策の必要性を考えていました。



成果報告



9月9日に成果報告をオンラインで配信しました。研修生には、NPOの活動やそれを支えるサポセンの仕事を知ってもらえる良い機会になったと感じています。今回の活動の様子は、インターンシップのホームページや当センターのInstagramからご覧いただけます。ぜひご覧ください。

研修生の感想

NPO研修、中間支援業務、3つのNPOへの訪問・体験と様々な活動をしました。NPOの課題やニーズを理解する目的でインターンシップに参加して、地域でNPOが果たす役割の大きさを実感しました。今回NPOの存在意義、NPOの課題・ニーズの学びを活かし、将来的にNPOと協働し、関わっていきたいと思います。

インターンシップ
報告QRコード



03
報告

令和7年度市市民活動推進補助金次世代育成支援
事業審査会&交流会&大洲青少年交流の家との協働

令和7年度松山市市民活動推進補助金 次世代育成支援事業 審査会



7月12日にコムズ（松山市三番町）で「令和7年度松山市市民活動推進補助金 次世代育成支援事業 審査会」が行われました。

次世代育成支援事業は、平成28年から市が市民活動の担い手となる、市内の小学生から大学生などのグループによるまちづくり活動の支援を目的に実施されています。今年度から補助金の増額など内容が大幅に変更されました。

審査会では、市内の小学生から大学生で構成された17団体が、自分たちのやりたいことで、地域の困りごとを解決するため、里山や離島に関係人口を増やす活動、子どもの居場所づくり、宇宙や世界に関する啓発といった、たくさんのアイデアをプレゼンテーションしました。審査員からは、大人の視点から次世代をあたたく応援するような内容の質問やアドバイスが活発にでていました。各団体の今後の活動に注目し、当センターとしても支援していきたいと思ひます。

愛媛県
中間支援組織オンラインmini交流会



7月24日に「愛媛県中間支援組織オンラインmini交流会」を開催しました。八幡浜市、西条市、宇和島市の各中間支援組織にご参加いただき、NPOの広報方法や日々の課題、各施設の取り組みなど意見交換を行いました。普段はそれぞれの日々の活動に追われ、ゆっくりと話す機会が少ない中で、相互の状況や工夫を共有できたことは大変有意義だったと思ひます。今後も学びや連携を深めながら地域の活動をより充実させていきたいと考えています。

大洲青少年交流の家との協働
令和7年度子どもゆめ基金助成金講座



9月26日にコムズで「令和7年度子どもゆめ基金助成金講座」を開催しました。

国立大洲青少年交流の家主催、まつやまNPOサポートセンター共催で、助成金の基礎知識、基金の概要、申請書作成ワークショップ、個別相談を行いました。同基金は子どもの健全育成を目的に体験活動や読書活動を支援する助成金で、報告書には参加人数が分かる写真添付が必須などのルールがあります。参加者は熱心に学び、助成金活用に意欲を高めていました。

04
報告

令和7年度
松山市市民活動推進補助金採択団体活動報告

令和7年度松山市市民活動推進補助金に採択された各団体の事業のうち、7月～9月に行われた活動の一部をご紹介します。

8/10 ベジタブルキッチン



コムズで「親子料理教室」を開催。子ども15名と大人10名が参加し、野菜を使ったピザやゼリー作りに挑戦。子ども用包丁で材料を切ったり、ゼリーを型に流し込んだり、親子で協力して楽しみました。絵本や手遊びも交え、野菜を身近に感じられる工夫が満載でした。

8/23 済美高校自然科学部 宇宙班



済美高校で「新玉宇宙教室～土星～」を開催。小学生3名が参加し、絵本で土星について学び、水を使った実験で地球との重さの違いを体験。惑星の位置関係を学べる三球儀も作りしました。小学生が真剣に学び、楽しみ、発見を重ねる姿が印象的でした。

8/24 元気いっぱいこども先生



星岡集会所で「こどもわくわくキッチン」を開催。小学生が先生になり、カレーの作り方を24名の子どもたちに教えます。自分たちで考えたルールを守りながらカレー作りと食事会を実施。「世界一美味しかった」などの感想を共有し、改善点の振り返りも行いました。

9/21 くぼの里山会



窪野公園で「いよ窪野収穫祭」を開催。新米「窪野米」や朝採れ野菜の販売に多くの来場者が集まり、塩にぎりや炊き込みで飯も大好評でした。大学生団体「くぼの里山もりあげ隊」も参加し、地域を盛り上げました。

9/27 「新たな備えサポート隊in松山」
実行委員会



DCM住まいの創造かんで高齢者宅に突っ張り棒を取り付けるボランティア対象の実技講習会を開催。参加者11名は、高齢者の対応の仕方や防災マップの使い方などの講義を受けました。防災グッズの取り付け方の実習も受け、災害に備える重要性を感じました。

活動の詳細や今後のイベントについては、当センターのホームページやブログ、SNS及び各団体のSNS等に掲載されています。ぜひ団体名で検索して、各種イベントに参加してみてください。